

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築計画Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0109			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	江本 晃美						
到達目標							
1. 空間構成の技法について、その種類や方法を理解できること。 2. 大規模建築物を含む周辺環境において、確保すべき安全性や機能性を提供する手法や形態の知識を習得すること。 3. 形態の種類や構造を学び、機能との整合性や関連性を理解すること。 4. 建築物の計画例をもとに、建築計画により機能や形態をコントロールする実践的な手法を理解すること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
空間構成の技法		実際の都市における空間構成の技法を例を挙げて説明できる		空間構成の技法について概念を説明できる		空間構成の概念が説明できない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築計画Ⅰで学んだ基礎的事項に基づいて、大規模建築物や公共建築物の建築設計に必要な建築物の空間を生成及び調整する計画技法を学び、法規の基礎知識を習得する。						
授業の進め方・方法	集合住宅、劇場、学校の設計に必要な基礎知識について、教科書を中心に練習課題等を併用しながら例を基に理解を深め実践的に習得する。						
注意点	実践力を高めるために、日常的な観察・考察力に関連するクイズを行い、正解に応じて加点する						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス 計画Ⅰの復習			計画技法を理解する	
		2週	集合住宅 計画Ⅰの復習			建物の配置と敷地外との関係性、動線計画、プランタイプを理解する	
		3週	集合住宅 計画Ⅰの復習			規模算定、住棟計画、各部の設計、住戸タイプを理解する	
		4週	集合住宅 計画Ⅰの復習			コミュニティ形成、防犯性、プライバシーを理解する	
		5週	集合住宅 計画Ⅰの復習			関連法規、計画例等 を理解する	
		6週	劇場、コンサートホール 事例研究			ステージ形式、劇場の歴史を理解する	
		7週	中間試験			中間試験	
	8週	劇場、コンサートホール 事例研究			試験返却、劇場の必要諸室と規模を理解する		
	2ndQ	9週	劇場、コンサートホール 事例研究			音響設備、ステージ設備、客席空間 を理解する	
		10週	劇場、コンサートホール 事例研究			音響設備、ステージ設備、客席空間 を理解する	
		11週	学校施設 事例研究			学校の歴史、変遷、規定を理解する	
		12週	学校施設 事例研究			学校の種類、運営方式、オープンスペースを理解する	
		13週	学校施設 事例研究			外構計画、配置・動線計画、環境要因への配慮を理解する	
		14週	学校施設 事例研究			各部の基準寸法と規模、プライバシーの確保と防犯、防災、プランタイプ、プラン例を理解する	
		15週	まとめ			試験返却及び補足	
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験		課題		相互評価		合計
総合評価割合	70		30		5		105
基礎的能力	10		0		0		10
専門的能力	40		10		0		50
観察・分析力	10		10		5		25
考察力	10		10		0		20